

「心に残る文化財子ども塾」学習指導案

日 時：令和6年7月5日（金）9:30～11:30

場 所：松江市立来待小学校

対 象：6年生（児童19名）

指導者：担任教諭1名

島根県古代文化センター2名

1. 主題（名）

古代人の暮らしを体験してみよう！ ～ 来待地区周辺の遺跡と和同開珎作り ～

2. ねらい

○地域の遺跡や出土遺物を通じ、文化財に対する興味関心を高める。

○和同開珎作りを体験することで、古代の人々の生活の様子や技術について知る。

3. 展開

| 時間 | 学習活動 | 指導者の支援・配慮事項 |
|---------------------|----------------------------------------------------------------------|------------------------------------------|
| 9:30 ～ 9:35 (5分) | 1. 学習の見通しをもつ。 ・ねらいと学習内容 ・講師の紹介 | ・学級担任が進行する。 |
| 9:35 ～ 10:00 (25分) | 2. 来待小周辺の遺跡について学ぶ。 ・プリント資料を用いて学習する。 ・時代背景や当時の社会について整理する。 | ・講師が進行する。 ・遺物を用いて説明する。 <電子黒板・PC> |
| 10:00 ～ 10:25 (25分) | 3. 和同開珎と当時の来待について学ぶ。 ・プリント資料を用いて学習する。 ・遺跡で出土した本物のお金を観察し、触れてみる。 | ・講師が進行する。 ・遺物を用いて説明する。 <電子黒板・PC> |
| 10:35 ～ 11:20 (45分) | 4. 和同開珎作り体験 ・理科室へ移動 ・道具・作業手順の説明 ・作業開始 ・片付け | ・講師と学級担任が進行する。 ・注意事項を説明する。 ・4班に分ける |
| 11:20 ～ 11:30 (10分) | 5. まとめ ・感想発表 ・アンケート用紙記入 | |

4. 準備物

学校：電子黒板、軍手、ガスコンロ

古代C：低融点金属・タルク・鋳型・鍋、プリント資料、出土遺物、PC